

JISA/TISSA 共同イベント 実施報告

台湾のカウンターパートであるTISSAとの取組で、台湾デジタル発展部 数位産業署（ADI）を代表とする視察団と技術交流・商談機会を創出

【日時】2026年10月14日(水)15:00～17:30(受付14:30～)

【会場】Startup Island TAIWAN TOKYO HUB

【住所】東京都港区芝大門1-3-4 GRAN FIRST 7階

当日のプログラム

14:30～15:00 受付

15:00～15:10 開会挨拶(ADI/JISA)

15:10～16:30 台湾企業によるAIソリューション・導入事例紹介

16:30～17:30 自由交流・個別商談

日台双方の代表者が開会挨拶

台湾デジタル発展部 数位産業署(ADI)代表者Wu, Ming-Hui氏と、JISAの富安寛副会長・国際委員長が開会挨拶を行った。両者は、AI分野における日台企業間の交流を深め、具体的な協業や日本市場での事業展開につなげていくことへの期待を述べた。



台湾AI企業によるソリューション紹介と個別商談

AIの実装事例を共有し、日本企業との具体的な連携可能性を意見交換



参加企業一覧

DataMana Co., Ltd.
E-EXCELLENCE INC.
株式会社Eslitec
GEOX Intelligence Group
N-Partner Technologies Co., Ltd.
株式会社太能システム
SUN NET TECHNOLOGY CO., LTD.
WebComm Technology Co., Ltd.
YeuNay Technologies Co., LTD.
株式会社UEC JAPAN
Digit Spark CO., LTD.
株式会社KDAN JAPAN
INCA Co., Ltd.

台湾側の参加企業は以下のURLからご覧ください。
お問い合わせの際は「JISAのサイトを見た」とお伝えください。

<https://www.jisa.or.jp/Portals/0/resource/news/1540/704.pdf>

台湾企業によるピッチと交流

台湾企業13社が、生成AI、AIエージェント、音声認識、データ分析、サイバーセキュリティなどの技術や導入事例を紹介した。ピッチ終了後には自由交流・個別商談の時間を設け、参加企業同士が製品連携、日本市場への展開、販売・導入パートナーとしての協業可能性について意見を交換した。

台湾AI視察団(ADI／III／TISSA) SCSK訪問 実施報告

官民連携で台湾AI企業8社の日本市場展開と日台協業を支援

【日程】2026年10月13日(火)10:00～12:30

【会場】SCSK株式会社 豊洲フロントオフィス(東京都江東区)

【参加】moda ADI、III、TISSA、台湾AI企業8社、SCSK、JISA

■ 官民連携による台湾AI代表団

台湾のAI関連企業・スタートアップ8社が、日本におけるAIの社会実装とビジネス適用の現状を学ぶため、SCSKを訪問した。

デジタル発展部 数位産業署(ADI)が政策と産業振興を担い、財団法人資訊工業策進会(III)が政策の具体化と企業支援を推進。台湾情報サービス産業協会(TISSA)が業界との連携を担い、台湾発のAI技術と日本市場を結びつける機会を設けた。



ADI・III・TISSA、台湾AI企業8社、SCSKの参加者

SCSKが推進するAI変革(AX)と新プラットフォーム構想

AI時代に対応するコンサルティングとエージェント指向型の業務改革

開会挨拶とSCSKのAI事業戦略

ADIのWu, Ming-Hui氏とSCSK 奥原氏(常務執行役員 企画本部)が、日台連携への期待を込めて挨拶。続いて、SCSKの担当者がAI事業戦略「AX(AI Transformation)」を紹介した。

アジャイル型デジタルコンサルティング

SCSK 志村氏(AX事業本部 副本部長)は、AI時代に適応した「アジャイル型デジタルコンサルティング」の取り組みについて説明した。顧客の経営・業務上の課題を起点に、構想策定からソリューションの設計・実装までを一貫して支援し、短いサイクルで仮説の設定と検証を繰り返すことで、変化に柔軟に対応しながら成果につなげていく点が特徴である。顧客との共創を進め、顧客自身が主体的かつ継続的に業務変革を推進できるよう支援するプログラムについても紹介があった。

AIエージェントプラットフォーム

続いて、SCSKが独自に推進する「AIエージェントプラットフォーム」の構想が紹介された。同プラットフォームは、企業内の既存システムや各種データと大規模言語モデル(LLM)を連携させ、AIエージェントが利用者の指示や業務状況に応じて、複数のシステムを横断しながら業務プロセスを自律的に実行・支援することを目指すものである。単なる業務の効率化にとどまらず、AIを前提として業務そのものを再設計する次世代型の基盤構想に対し、台湾側参加者からも導入方法や技術的な連携、今後の協業可能性について高い関心が寄せられた。



SCSK豊洲フロントオフィスでのセッション



台湾側代表者から日台連携への期待が示された

台湾AI企業8社によるピッチと意見交換

技術紹介に加え、日本市場での協業モデルや事業展開上の課題を議論

参加企業

DataMana
E-EXCELLENCE
Eslitec
GEOX Intelligence

N-Partner
Pacific Smart System
SUN NET TECHNOLOGY
WebComm Technology

■ 実践的なAIソリューションを紹介

各社がデータ分析、スマートファクトリー、CRM、地理空間情報、サイバーセキュリティなどのソリューションを紹介。日本企業の課題解決に向けた具体的な適用例を示した。

■ 協業モデルと日本市場参入を議論

SCSKのエンジニアや事業担当者を交え、顧客課題の解決に向けた役割分担、既存サービスとの連携、日本の商習慣への対応について意見を交換した。日台双方が互いの強みを確認し、将来の協業に向けた第一歩となった。



SCSK関係者を交えた質疑応答・意見交換